



本展は、壬生藩鳥居家四代忠燾が残した『御献立帳』を中心に、記録に残された天下人の献立を紹介します。とりわけ「歴史食」と言えば、天正一〇（一五八二）年に織田信長が徳川家康をもてなした「安土御献立（本膳料理）」が有名ですが、他にも信長が茶人をもてなした「懐石料理」、降嫁に際し皇女和宮をもてなした「精進料理」など、饗応膳と称する「饗応料理」があります。

県下に残る記録としては、日光参詣に伴い壬生・宇都宮藩主が四代将軍家綱をもてなした「饗応膳（七五三膳）」、上・下侍塚古墳の発掘に際し小口村（旧馬頭町）の名主が水戸光圀をもてなした「料理」の記録が残っています。また、「日常食」では四代忠燾が残した一ヶ月間の『献立帳』です。この史料は食した料理の摂取量も記した極めて珍しいものです。さらに、十一代将軍家斉が残した一ヶ年に及ぶ『調理叢書』は歴史上比類ない献立帳です。奇しくも同時代に完成した「献立帳」は今に残り、天下人の日常食がどのようなものであったかを紹介します。なお「献立帳」などにも登場し、壬生藩を代表する特産物「かんぴょう」や「ごぼう」にまつわる資料も併せて展示します。本展から、江戸の食文化に触れ、歴史ドラマへと思いを馳せていただければ幸いです。

大名の献立

—文化二年 壬生藩御献立帳—



- 1 文化二年御献立帳 岡田記念館
- 2 成形成説(干瓢)「巻26」 国立公文書館
- 3 成形成説(牛蒡)「巻23」 国立公文書館
- 4 安土御献立・再現模型「奥村彪生監修」御食園若狭おほま食文化館
- 5 織田信長肖像(部分) 早稲田大学図書館
- 6 徳川家康肖像(部分) 東京大学史料編纂所

壬生町立 歴史民俗資料館
 〒321-0225
 栃木県壬生町本丸1-8-33
 (東武宇都宮線壬生駅下車、壬生城址公園内)
 TEL 0282-82-8544



「関連企画」
 ◎講演会
 演題「献立から読み解く江戸時代の食」
 講師 鎌谷かおる (立命館大学 食マネジメント学部准教授)
 日時 2022年12月3日(土) 午後2時
 会場 壬生町城址公園ホール・研修室
 定員 80名(先着順)
 参加無料

◎再現！壬生御献立
 会場 日本料理 篠 (壬生町壬生丁20034)
 TEL 0282-82-3870
 日時 2022年11月27日(日) 午前11時
 講師 湯川晴美 (元國學院大學栃木短期大学教授)
 定員 10名(先着順)
 参加料 500円

◎ミュージアムトーク
 日時 2022年11月6日(日)、
 12月17日(土) 午後2時

講演会及び再現料理参加希望の方は
 10月12日(水)より受付いたしますので
 電話 0282-82-8544 までお申込み
 ください。定員になり次第締め切ります。

※新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡散防止のため、予定が変更になる場合がございます。